

Stainless Muffler

No. MSE8Y50

取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ ステンレスマフラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取り付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

本製品の取り付けに際しては、別途SE-03C リアアンダーパネルの装着が必要となります。
マイナーチェンジ前車用(SE3P-~300000):品番=MSW2400 / マイナーチェンジ後車用(SE3P-300000~):品番=MSY2400
本製品の装着前にリアアンダーパネルの装着作業を先に行い、その後本製品の取り付け作業を行ってください。

取付可能車種 ※車検証の備考欄にマフラー加速騒音規制適用車と記載されている車(平成22年4月1日以降の生産車)

⚠注意:本品を下表の取付可能車種以外に取り付けをしてしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両の保安基準に合致せず違法改造となります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。

部品番号	性能等確認済表示番号	車種名・グレード	取付可能車種			
			型式	エンジン型式	年式	ミッションタイプ
MSE8Y50	JATA-10100014	RX-8 Type S/Type RS	ABA-SE3P	13B	2010年4月~	6MT車

取付可能車種 ※上記以外の車(平成22年3月31日以前に生産された車両)

部品番号	車種名	取付可能車種			
		型式	エンジン型式	年式	ミッションタイプ
MSE8Y50	RX-8	LA-SE3P ABA-SE3P	13B	2003年4月~ 2010年3月	6MT/4AT/6AT車 (5MT車不可)

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量
①	メインサレンサー	SUS304製 メイン径φ50.8×2 テール径φ80×4 循環方式サイレンサー	1
②	ミドルパイプ	SUS304製 メイン径φ60.5→φ50.8×2	1
③	フランジガasket		2
④	フランジボルト	スチール製 M10×35	4
⑤	フランジナット	スチール製 M10	4
⑦	ナット	スチール M6	1
⑧	ユーザー登録フォーム		1
⑨	保安基準適合証明書		1
⑩	取付・取扱説明書	本書	1

⚠注意 ※当製品のご使用にあたっては、以下の点をご注意ください

本製品の装着に起因し、リア牽引フックは使用できなくなります。お車のご使用に際してはご注意ください。

⚠注意事項(ご使用者の方へ)

- 本製品はユーザー登録対象製品となっております。ユーザー登録フォームは、万が一の製品不具合情報や、商品に関する重要なお知らせなど、当社からお客様へご連絡を差し上げる際の重要な資料となりますので、必ずご登録くださいますようお願い申し上げます。
- エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっております。特に後端のテールパイプ部分は、自動車の外に露出していて接触しやすいので十分に注意してください。触れると火傷する危険があります。お子様には特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする時、衣類がテールパイプに接触すると、焦げたり溶けたりすることがあります。駐停車する際にも周囲に十分気を付けて下さい。
- マフラーは消耗品です。正しい使用方法を守り、経年変化等により本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。ジムカーナやサーキット走行など特殊な用途でのご使用は、製品の耐久期間が著しく低下する恐れがあります。予めご了承ください。

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

⚠ 注意事項（取付作業の方へ）

- マフラーの交換は、設備の整った自動車整備工場等で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の恐れがあり大変危険です。装着作業は専門の整備工場等に依頼してください。
- エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっており触れると火傷する恐れがあります。必ずマフラーが冷えたのを確認した上で作業を行ってください。また、火傷を防ぐため作業中は耐熱性のある手袋を必ず着用してください。
- 排気関係の部品は錆び付いており、ボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとうボルトが折れたり、ナットが破損したりする可能性があります。事前にスプレー式浸透性潤滑剤を塗布するなど、適切な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
- マフラー交換は自動車の床下で交換を行う作業のため、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると大変危険です。必ず自動車作業専用のリフトを使用して安全に作業を行ってください。やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は、地面が沈まない硬い水平な場所で、リジトラックを併用して作業を行ってください。尚、車載ジャッキのみでの作業は大変危険ですので、絶対にお止めください。
- 取り付け時には、各部のクリアランスが保てる様に注意してください。特にブレーキ関係、燃料関係、駆動系関係及び電気関係の配線には細心の注意を払ってください。
- マフラーハンガーに、割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合は、落下防止のため必ず純正の新品マフラーハンガーに交換してください。
- 当製品は量産車をベースに、できるだけ簡単かつ確実に装着が出来るよう設計・開発を行っておりますが、車両の製造個体差（エンジンの搭載位置やミドルパイプの製造個体差）などの影響により、左右のテールガーニッシュの配置や突出量に差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、テール部外径が純正マフラーに対して大きくなっています。そのため車両の個体差により、テール部分がバンパーなどに干渉する場合があります。その場合にはエキゾーストマニホールド、ミドルパイプ、触媒等マフラー前側の調整により取り付け位置を修正することができます。また、純正エキゾーストマニホールドやミドルパイプが走行中に縁石などへの接触により変形しているような場合についても、テール部がバンパー等に干渉し位置が合わない場合があります。

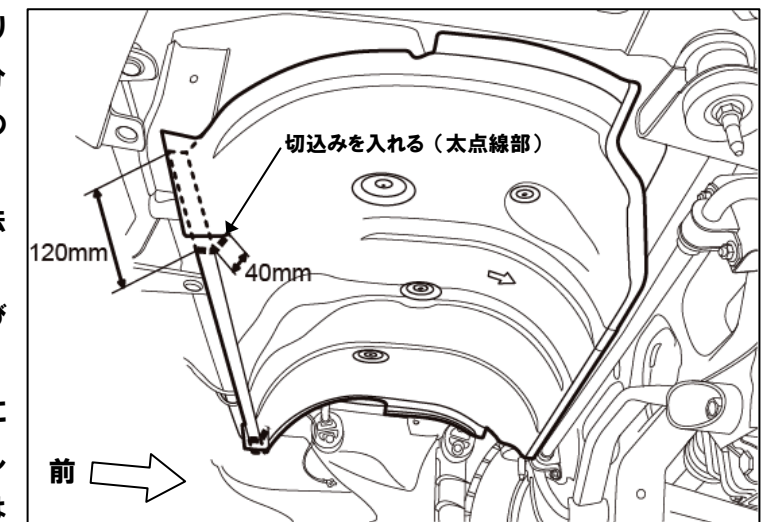
装着手順

1. 取付・取扱説明書に記載の取付可能車種と、実際に取付けを行う車両の型式およびエンジン型式などが同一であることを確認します。

⚠ ご注意: 本品を取付可能車種以外に取り付けをしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両法の保安基準に合致せず違法改造となる場合があります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。

2. 純正ミドルパイプとキャタリストコンバーターを接続しているナット、およびマフラーアースを取り外し、純正マフラーをミドルパイプと一体のまま車両より取り外します。尚、取り外した純正ナットおよびマフラー Springs は再使用しますので、そのまま保管しておいてください。
3. 別売りのSE-03C リアアンダーパネル（MC前用:MSW2400 MC後用:MSY2400）を先に取り付けします。※製品の構造上（純正バンパーの切断加工処理が必要なことなど）マフラーが先には取り付けできませんので、ご注意ください。

4. 右図を参照に、純正マフラー上部の車体側に取り付けされているヒートインシュレータの太点線部分に金切りハサミなどで40mmの切込みを入れたのち、手で図のような形に遮熱板を折り曲げます。尚、ヒートインシュレータの折り曲げは、同様の寸法で反対側も加工します。



5. ②ミドルパイプを、純正マフラー Springs およびナットを使用して車両に仮組みします。
6. ①メインサイレンサーを車両のマフラーハンガーに吊り、④フランジボルト、⑤フランジナットを使用して車両に仮組みします。その際、フランジには③フランジガスケットを挟んで組み付けます。

7. マフラー本体を手で揺すって位置を落ち着かせた後、各車両部品とのクリアランスは適切に保持されているかを確認しながら各部を左右均等に本締めします。

8. マフラーのむら焼けを防止するため、取り付け作業時に付着した油分や汚れをパーツクリーナーなどできれいに拭き取り作業完了です。

9. エンジンをかけ、各フランジ部から排気漏れなどが発生していないかを確認し作業完了です。

